コミュニティスクールを生かした

第八小学校の午前5時間制

●午前5時間制のメリット

- 1. 授業時数の増加(十分な確保)
- 2. 生活リズムの改善
- 3. 生み出された時間による豊かな教育活動



<午前5時間制のメリット① :授業時数の増加(十分な確保)>

一般的な学校では、午前中に4時間、午後に2時間の合計6時間、授業を行っています。本校は、午前中に5時間、午後に1時間の合計6時間、授業を行います。一見同じように見えますが、実は大きな違いがあります。例えば、家庭訪問などで午後の授業をカットしなければならないときでも、本校では常に5時間の授業を確保できます。そのため、第一学年では年間78時間、第二学年では年間66時間もの授業を、標準時数に加えて実施していることになります。この上乗せして行う授業時数により、余裕をもった確実な指導が可能なばかりではなく、発展的な学習にチャレンジさせることもできるのです。加えて、学期初めや学期末に午後の授業をカットする短縮時間割も可能となり、年度初めの準備や成績処理にも余裕が生まれています。

<午前5時間制のメリット②:生活リズムの定着>

文部科学省が実施している全国学力・学習状況調査の結果から、「子どもの生活習慣」と「学力」には相関関係があるとのことが明らかになっています。つまり、「早寝・早起き・朝ご飯」が定着している児童の多くは、他と比較して学力が高いということです。

本校では他校と比較して概ね20分登校時刻が早く、15分ほど給食の開始時刻が遅くなっています。そのため、朝ご飯を食べないで登校した場合、学校生活に大きな支障が生じるので、各家庭には「朝食を確実にしっかり摂らせること」をお願いしています。また、朝早く起きるためには、夜は早く床につかなければなりません。つまり、午前5時間制は、「早寝・早起き・朝ご飯」を推進し、「生活リズム」を整えると同時に、学力の向上にも深くかかわっているのです。

<午前5時間制のメリット③:生み出された時間の活用による豊かな教育活動>

午前5時間制最大のメリットは、第6校時が終了してから、児童の下校時刻まで45分間の時間があるということです。通常の学校ですと、これが20分程になります。本校ではこの午前5時間制によって生み出された余裕の時間を活用し、以下の取組を行っています。

- ①ふれッチャ・クラブ…地域の方、高校生との交流を伴ったクラブ活動(3年以上)
- ②八小なるほど塾…教員資格のある講師による補習教室(3年~6年で実施)
- ③八小錬成塾…校長・主幹等による算数特別指導。思考力・判断力・表現力を高める発展的課題に取り組む
- ④習熟タイム・放課後指導…主に東京ベーシックドリルを活用し、算数の基礎学力の定着を図る
- ⑤学級全員遊び・兄弟学級遊び…35分間の昼休みを活用し、学級内や異学年児童との関わりを深める活動
- ⑥新教科「徳育科」の実施…年間35時間の道徳授業を40時間に拡大し、心の教育を重点化

(武蔵村山市立第八小学校 校長 牧 一彦)

1. 午前5時間制へのあゆみ

(平成21年度から完全実施)

平成12 年度……隔週土曜制(午前4 時間)、授業日数221日

平成**16** 年度・・・・・15分モジュール(午前4.3 時間)、授業日数198日

平成**17** 年度・・・・・30分モジュール(午前4.7 時間)、授業日数198日

平成**21** 年度·····**完全午前** 5 時間制 (前学習指導要領:移 行 期) 授業日数201日

令和 **2** 年度·····**完全午前5** 時間制 (新学習指導要領:本実施期)授業日数202日

2. 授業時数の変遷

(夏季休業日を短縮しなくても**十分な授業時数を確保**できる)

	1	年	2	年	3	年	4	年	5	年	6	年
12年度	850		910		980	45.0	980	45.0	980	30.0	980	35.0
16年度	782	37.8	840	32.7	910	25.7	945	30.3	945	26.7	945	20.3
17年度	782	82.1	840	59.9	910	43.6	945	38.1	945	39.5	945	35.9
2 1 年度	816	107.5	875	78.1	945	77.8	980	66.0	980	61.8	980	55.0
R 2年度	856	78.5	915	66.5	985	40.5	1020	32.0	1020	30.5	1020	26.0

*各学年とも、左欄が標準時数(R2年度は徳育科の5h増を含む) 右欄が余剰時数(45分=1単位時間)

3. 生み出される授業時数のしくみ

●欠時を最小限に留めることができるため。

4. 生み出される時間のしくみ

8:30 8:50

- ①家庭訪問、個人面談等、保護者会等に伴う午後の授業カット
- ②各研究会、悉皆の研究発表会等、出張に伴う午後の授業カット

<全国に広がる午前5時間制>

●静岡県浜松市立中郡小学校

15:15 15:35

平成30年度から高学年教科担任制とセットで導入しました。授業の充実を学校経営の 重点としている本校では、ゆとりある授業時 数の中で教育課程を実施できることはもちろ



ん、放課後に教師が授業の 準備や振返りを行う時間が 確保されるなど、多くのメ リットを感じています。

(森本 清吾 校長)



35 分間 の昼休みを活用して⑤学級全員遊び等を実施

12:20

13:40

早い登校時刻と遅い給食開始時刻が「早寝・早起き・朝ご飯」の生活リズムを定着させる

{この}45{分間を}

活用して ①ふれッチャ・クラブ

②八小なるほど塾

③八小錬成塾

など放課後指導 を実施

基には 15分間の ④習熟タイム を

3日間 実施

時 間	月曜	火曜	水 曜	木曜	金曜
8:10~ 8:15	朝会・集会	朝の会	朝の会	朝の会	朝の会
8:15~ 9:00	学 級 指 導 読書·漢字学習	1 校時(1)	1 校時 (2)	1 校時 (3)	1 校時(4)
9:05~ 9:50	2校時 (5)	2校時(6)	2校時(7)	2校時(8)	2校時(9)
9:55~10:40	3 校時 (10)	3校時(11)	3校時(12)	3 校時 (13)	3校時(14)
10:40~11:00	中休み	中休み	中休み	中休み	中休み
11:00~11:45	4 校時 (15)	4校時(16)	4 校時 (17)	4 校時(18)	4 校時(19)
11:50~12:35	5 校時 (20)	5 校時(21)	5 校時 (22)	5 校時 (23)	5 校時(24)
12:35~13:15	給 食	給 食	給 食	給 食	給 食
$13:15\sim13:30$	昼休み	清 掃	清 掃	清 掃	清 掃
13:30~13:45	(~ 13:35) 6 校時 (25) 13:35 ~ 14:20	日 <i>仕</i> 7、	習熟タイム	習熟タイム	習熟タイム
13:45~14:05		昼休み	下校指導	昼休み	昼休み
14:05~14:50	下校指導	6 校時 (26)		6 校時 (27	6 校時 (28)
14:50~15:35	ふれッチャ・クラブ (委員会活動) 14:35 ~ 15:20	下校指導 放課後	職員会議校内研究 分掌部会	下校指導放課後	下校指導 放課後
16:25~16:40	職員夕会		市教育研究会 等	職員夕会	

① **ふれッチャ・クラブ** (3年以上)

「ふれッチャ・クラブ」は、「ふれあい・チャレンジタイム」(地域交流学習)とクラブ活動(特別活動)を合わせた活動です。

八小児童と教員、地域の方々(教育ボランティア)、高校生(都立武蔵村山高校3年)という、異年齢・異世代間で、地域の伝統や文化、知恵を共に学び、共に考え、一緒に体験する中で、「礼儀や挨拶の励行」、「人と



フォ**ー**クダンスふれッチャの**様子**

②八小なるほど塾③錬成塾④習熟タイム

火・木曜日の放課後に「八小なるほど塾」(補習教室)と「八小錬成塾」(発展学習)を行っています。有資格者や地域ボランティアが指導に当たります。水・木・金曜日には、東京ベーシックドリルを活用した習熟タイムを実施しています。



5学級全員遊び

火曜日は、35分間の長い昼 休みを活用して、全校で「学級全 員遊び」や「兄弟学級(異学年)遊 び」を行っています。芝生化によ り、外遊びが増え、児童の体力 向上にも結びついています。



<u>6. 午前5時間制を生かしたコミュニティ・スクール構想</u>

地域が学校を支え、学校が地域に貢献する

五中校区コミュニティ

学校の願い

学び・かかわりのスタイル

パートナーシップ

育订

時

5

間 伟リ 晧 闁 空 闁

材

0 ゆ ح り

力 佝 Ŀ 統

文 化 0 継 承 ネし

てド

方

か

わ

り

儀 挨 拶 0 历力 行

ふれッチャクラブ

習熟タイム・詩の暗唱

九九等基礎計算の習熟

八小なるほど塾

夏の八小塾

八小鍊成塾

国際理解教育

読書活動・出前授業

もちつき大会

安全・環境整備

学習支援ボランティア 民生児童委員 都立武蔵村山高校 保護者

校

運

営

協

議

会

コ

デ

イ

ネ

1

タ

Т

部

会

学校支援ボランティア NPO法人AEFA

図書ボランティア

老人会(各地区)

西武地区おやじの会 八小見守り隊

ク゛リーンサホ゜ーター

<今後の推進予定> 幼稚園・保育園との 連携

五中校区小中一貫教育

前5時間制を生かした学力向

※太字は H25 以降の新規事業

午前5時間制の実施

授業時数の十分な確保

余剰時間・生み出した時間(放課後)の活用

八小授業改善推進プラン

八小授業スタンダード(思考力向上)

発展的学習の充実

百

人

補充的学習の充実

詩の暗唱

+

分

な

放

課 後

時

間

全

校)

小なるほど塾 (二年) (三~六年)

繰り上がりテスト(一年) 九九聞き取りテスト (三年)

繰り下がりテスト 年

漢検に向 ゖ 7 0 練 兀

村山

習熟タイム(週3回)の拡大 東京ベーシックロの活用

夏の八小塾・地域ボランティ アによる (全校)

的課題にチャレンジ(五・六年)教科書の範囲を超えた発展・八小錬成塾 (伝統文化・首の取り組み 全 校

・礼法の時間の新設・実施へ新教科「徳育科」の創設〉・ 文科省教育課程特例校 筝の 演奏 伝 伝統文化への取り 組 四み 年

学年での教材研究、授業準備時間の確 授業改善等の取組保